

大隈重信記念館だより



「大隈祭」雨天ながらも無事開催



新年度がスタートしました。大隈重信記念館は館長と学芸員が新たに就任いたしました。今後ともよろしくお願いたします。さて、まだ日常業務にも慣れない中ですが、当館の一大行事「大隈祭」が5月12日に開催されました。5月に入りほぼ晴天続きでしたが、当日はあいにくの大雨。地元の方々による面浮立や附属小学校の出演が中止になり、大変残念でした。しかし大勢の方々に御出席いただき、式は厳粛かつ滞りなく幕を閉じました。心より感謝申し上げます。(館長：山口浩)



北原香菜子氏による薩摩琵琶演奏の様子

今年の幕開けは
「大隈重信の始球式」

激しい雨の中での開催

大雨の中、今年も恒例の大隈祭が開催されました。豪雨にもかかわらず、多くの方にご参加いただいたこと、誠に感謝申し上げます。

開幕は、昨年と同じく北原香菜子氏による薩摩琵琶の演奏。今年の演目は「大隈重信の始球式」でした。今年佐賀で開催される国スポ、全障スポに合わせた演目です。現代にも受け継がれる「空振りする」始球式の形式の元となった大隈侯の逸話を薩摩琵琶の音色にのせ、臨場感あふれる歌声で歌い上げられました。当時の情景が浮かび上がるようなパフォーマンスに、会場は「これから大隈祭が始まるのだ」という期待に包まれました。



◀ 早稲田大学応援部と早稲田佐賀中学校・高等学校吹奏楽部による校歌応援歌奉納の様子：力強いパフォーマンスと雨天にも響き渡る演奏で会場を沸かせた

篠突く雨に響く応援歌

雨天中ご足労いただいた多くの方々

セレモニーの後は、主催の坂井市長の挨拶に始まり、来賓祝辞が行われました。今年も多くの方にご参加いただきました。特に会場を盛り上げたのは、現早稲田大学の総長、田中愛治氏です。早稲田大学の総長が大隈祭に参加されるのは、大隈祭44年間の歴史の中でも初。その存在感は多くの参加者の方に感銘を与えられたことと思います。また、公務のなかご参加いただいた山口祥義県知事。そのユーモアあふれる祝辞に、会場は笑いに包まれました。

祝辞の後は、昨年開催された大隈重信スピーチコンテストの入賞者によるスピーチが行われました。現代の佐賀を生きる中高生に、大隈侯の精神が受け継がれていると実感させられる素晴らしいスピーチでした。その後続いた早稲田大学教授、早稲田佐賀学園理事長・校長である渡邊義浩先生による記念講演「大隈重信と早稲田大学」も、大変心を打たれるもので、会場は拍手で包まれました。

大隈祭の終幕を飾ったのは、早稲田大学応援部と早稲田佐賀中学校・高等学校吹奏楽部によるパフォーマンス。大雨の音を跳ね除けんばかりに響く演奏と力強い演武や掛け声に会場は大盛況の中、今年の大隈祭は幕を閉じました。



早稲田大学総長・田中愛治氏

記念館からのお知らせ

新館長山口浩、就任

～抱負と決意～

大隈祭にて意気込み語る



大隈祭開会の言葉と共に就任挨拶を述べる新館長山口浩：若干緊張の面持ちながらも、今後の記念館の展望について語った。

新館長挨拶文

この4月に大隈重信記念館館長に就任しました、山口浩です。大隈重信侯は幼少期から晩年にいたるまで、数々の興味深いエピソードがいっぱいです。今後、いろいろな機会でご紹介したいと思っております。

私は記念館近くの小学校、中学校、高校を経て1977年に早稲田大学を卒業。佐賀新聞社で記者を経験した後、郵便局長を30年務めました。

趣味はランニングです。さが桜マラソンがフルマラソンになって10年ほどになりますが、すべて完走しています。目標は70歳でサブ4（4時間以内で42.195km）です。

今後、遠来のお客様、地域の皆様、関係者の方々とともに、大隈重信記念館の維持、発展に尽くしたいと思っております。よろしくお願いたします。（館長:山口浩）

学芸員の仕事

～温度と湿度の管理～

今年度から新たに就任した学芸員の中尾です。よろしくお願いいたします。拙文ながら、今回の記念館だよりの制作と文章執筆を担当しました。文章末尾に（館長:山口浩）とあるもの以外は、私が執筆しています。蒸し暑い日が続いておりますが、この暑さは当館で保存している資料にも影響します。脆弱な紙の資料は急激な気温や湿度の変化に弱く、カビが発生するなどの危険性が高まるのです。このような被害から資料を守るため、展示室や収蔵庫の温度や湿度を一定に保つことも、学芸員の大切な仕事のひとつです。是非記念館内の温度にも注目して、展示室をご覧ください。（大隈重信記念館:学芸員）



記念館ニュース

今後の行事予定と
お知らせ

カルタ大会

【日時】令和6年8月24日

午前10:00～正午12:00

【対象】小学生

【お問い合わせ先】大隈重信記念館

電話：0952-23-289

恵比須八十八ヶ所巡り

今年も「お世話人」をしています

記念館から少し行った先にある「双体恵比須（別名：夫婦恵比須）のお世話人を務めています。記念館にお越しになられた際は是非お立ち寄りください。

大隈重信記念館だよりの 第41号

令和6年7月発行

大隈重信記念館 佐賀市水ヶ江 2-11-11

TEL・FAX：0952-23-2891

<http://www.okuma-museum.jp>

ボランティアグループ

「まきの会」通信

ボランティア仲間募集中

「まきの会」の新メンバーを
募集しています

【活動期間】

- ・ゴールデンウィーク期間
- ・バルーンフェスタ期間・佐賀城下ひな祭り期間・企画展開催期間・カルタ大会等

【定例会】

毎月第三水曜日 10:00～12:00

（その他、勉強会や研修など開催しています）

【お問い合わせ先】

大隈重信記念館 電話：0952-23-2891



まきの会からのメッセージ

全国いろんなところからお見えになるお客様や、仲間といろんな話ができて、とても楽しいです。大隈さんのことや、佐賀の歴史にもとても詳しくなりました。新しい仲間、待っています！